



◎このサイズも黒みを帯びた個体が交じる



◎釣りごろ食べごろサイズの1キロ級



◎早朝に上がった1.7キロ

▼大松丸はハリス4号10メートルが基準、コマセカゴはオモリ80号のLサイズ



◎時合を逃さず連続ヒット



◎小ぶりでも身に厚みがある



◎大型に備えてドラグ調節は万全に!

三浦半島剣崎松輪港出船

撮影◎鈴木良和

剣崎沖のコマセダイ 5月は大型連発の ベストシーズン!



◎クロダイも上がった



◎筆者が手にした当日最大2.4キロ



◎剣崎ならではの大型船で快適に楽しめる



◎時合に備えて一定のペースで手返しを



◎釣り場は剣崎沖の水深50メートル付近、海面から30メートル前後のタナを狙った

各地で乗っ込みへの期待が高まるこの時期、コマセダイファンが見逃せないエリアの一つが三浦半島剣崎沖。剣崎松輪港出船では、4月上旬ごろから腹回りが太った2〜3キロ級が頻繁に上がっており、数もいい日はトップで2ケタ超えも見られる。大松丸で取材した4月中旬は剣崎沖の水深50メートル付近を狙い、1キロ前後を主体に2キロオーバーを交えてトップ5枚とまずまず。黒ずんだ魚体が目立ち乗っ込みの到来を感じさせた。鈴木船長によれば、5月に入って水温が上昇すればさらに食いが上向くとのこと。迎えるゴールデンウィークは乗っ込み真っ盛りとなっているはずだ。(詳細は58ページ参照)



◎三浦半島剣崎松輪港・大松丸 鈴木 裕喜船長